

2020(R02).02.15

関東高校ラグビー新人大会は名門日川高校に敗れる





第20回関東高等学校ラグビーフットボール大会は、令和2年2月15日(土)から栃木県総合運動公園ラグビー場で開催され、日立一高は15日(土)13:00から日川高校(山梨県1位)と対戦。前半0-14、後半7-49、計7-63で敗れました。

敗れはしたものの、前半は魂のこもったタックルで日川高校を2トライに押さえ、後半の6分には7-21と追いつけるなど、大健闘しました。

以下は、現場からの Facebook での実況と LINE に寄せられたOBのコメントを加筆・抜粋したものです。

前半9分 日川高校トライ。ゴール成功(0-7) その後、日立一高はFL:No.6が負傷退場

20分 日川高校SO:No.10がトライ。ゴール成功(0-14)

27分 治療していたHO:No.2が復帰

後半3分 日川高校トライ。ゴール成功(0-21)

6分 日立一高、敵陣でのラインアウトをクリーンキャッチ、SO:No.10半澤のキックをCTB加藤がインゴールで押さえてトライ!!ゴール成功(7-21)

その後、13分・19分・21分・26分・28分・30分にトライされ、試合終了

※新チーム結成後、ディフェンスは最高の出来栄でした。ボール支配率2:8で前半2トライに押さえたのは、魂のこもったタックルが随所に見られたからでした。

ただ、他チームはダブルタックルが徹底されていますが、日立一高は単発なので、タックル後にズルズルと後退してしまい、相手のアタックがしやすいタイミングでボールを出されていました。

トライを奪ったのはキックからで、ゲインを切れたのは数回と、アタック面ではフィジカルの弱さを痛感。日川高校の伝統的なタックルは健在で、茗溪よりタックルはキツかったと思います。

しかし、部員たちは確実にレベルアップしており、チームとしても強くなっています。

部員達には自信が持てた試合だと思うので、これからが楽しみなチームです。

遠い試合会場まで駆けつけてくださった、OB・保護者の皆さん、ありがとうございました。

この貴重な経験を生かして、チームがさらに成長してくれることを期待したいと思います。